



2020年9月期第3四半期 決算説明資料

三洋貿易株式会社
(証券コード：3176)

2020年8月

連結実績表

2020年9月期
第3四半期実績

コロナの影響が第3四半期に本格化

連結子会社の増加に伴い、のれん償却等の販管費が増加

(単位：百万円)

	2019年9月期 3Q	2020年9月期 3Q			2020年9月期	
	金額	実績(A)	前期比	構成比	期初計画 (2019/11/6公表)	修正計画 (2020/5/12公表)
売上高	64,105	57,372	▲10.5%	100.0%	94,500	75,500
売上総利益	11,504	10,834	▲5.8%	18.9%		
<売上総利益率>	17.9%	18.9%	-	-		
販売費及び 一般管理費	6,601	7,012	+6.2%	12.2%		
営業利益	4,902	3,821	▲22.0%	6.7%	6,000	4,700
経常利益	5,097	4,205	▲17.5%	7.3%	6,200	4,800
<経常利益率>	8.0%	7.3%	-	-	6.6%	6.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,440	2,741	▲20.3%	4.8%	4,200	3,300
EPS (円)	120.15	95.74	-	-	146.70	115.24
配当 (円)	-	-	-	-	37.5	37.5

※2020年2月株式分割の影響調整済み

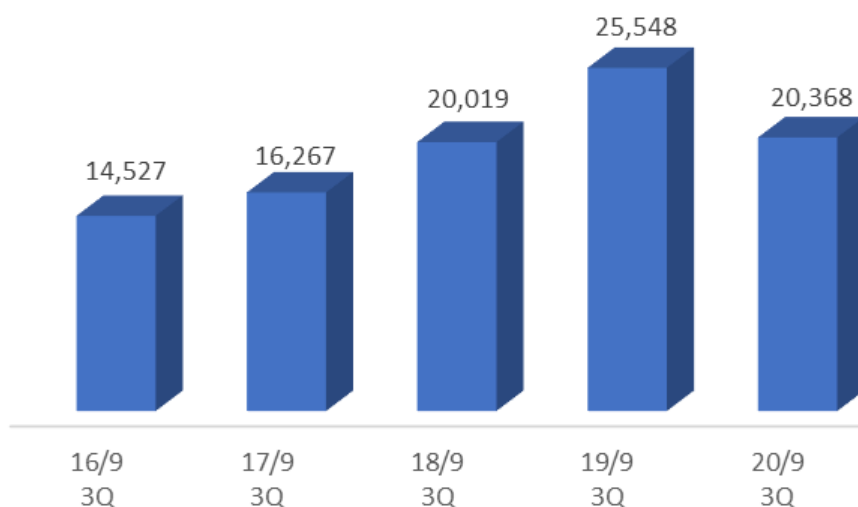
セグメント別 売上高・営業利益

2020年9月期
第3四半期実績

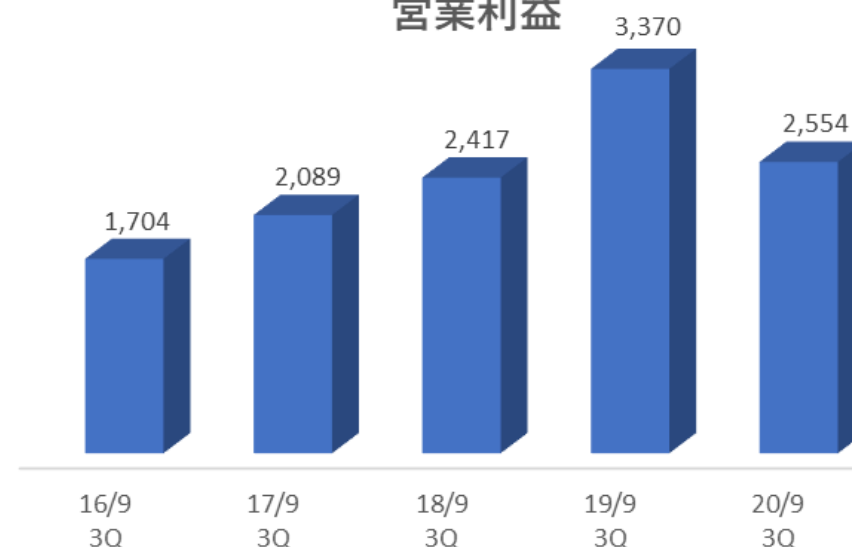
機械資材

単位：百万円

売上



営業利益



	金額	前期比増減率
売上高	20,368	▲20.3%
営業利益	2,554	▲23.9%

自動車内装用部品を中心とした産業資材事業は、
コロナの影響を受ける

機器環境事業は粉体機器は好調も、木質バイオマス
での新規大型案件がなかった

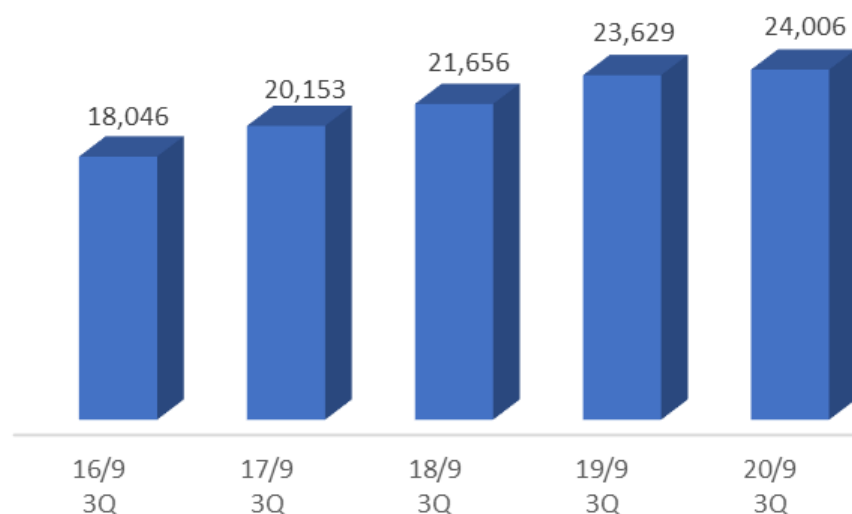
セグメント別 売上高・営業利益

2020年9月期
第3四半期実績

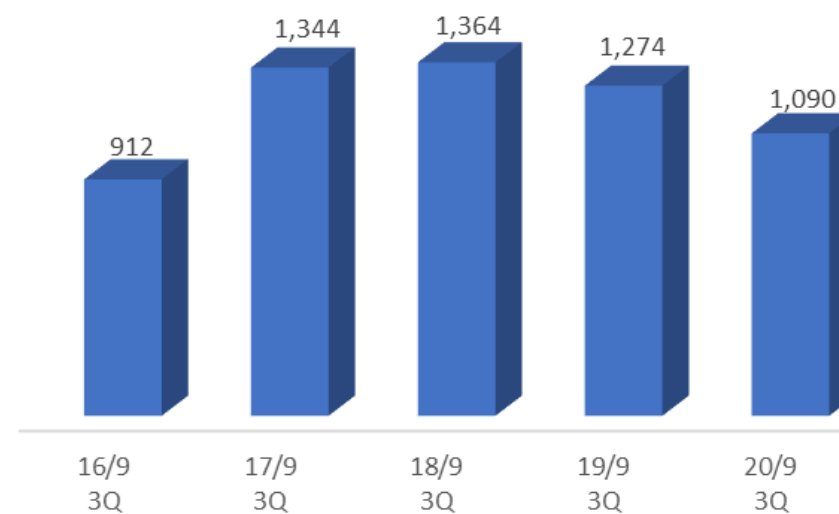
化成品

単位：百万円

売上



営業利益



	金額	前期比増減率
売上高	24,006	+1.6%
営業利益	1,090	▲14.5%

ゴムは自動車向け合成ゴムや副資材の採算が振るわず

化学品は主力の塗料・インキがコロナで減速、子会社ワイピーテックは堅調だったが、事務所移転などの一時費用を計上

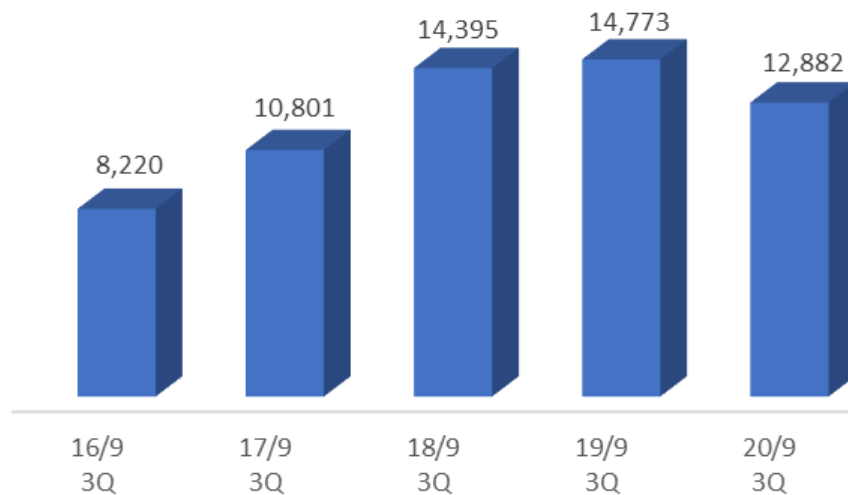
セグメント別 売上高・営業利益

2020年9月期
第3四半期実績

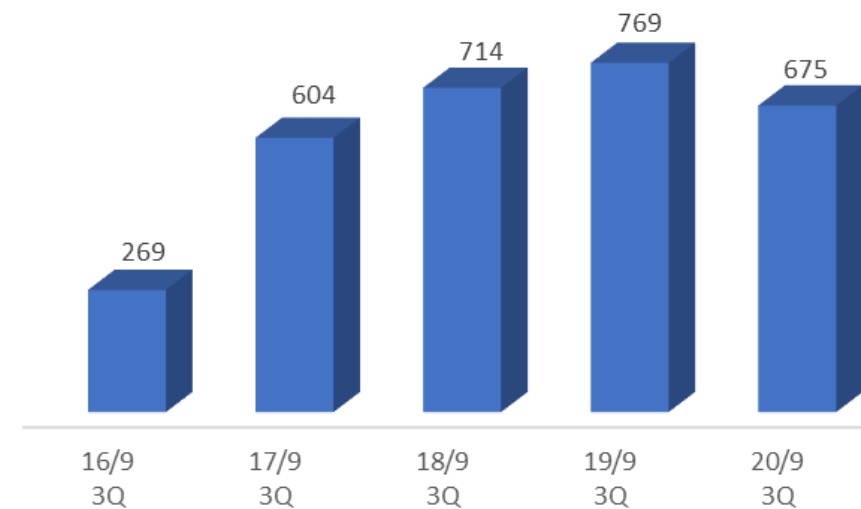
海外子会社

単位：百万円

売上



営業利益



	金額	前期比増減率
売上高	12,882	▲12.8%
営業利益	675	▲12.2%

コロナの影響で、自動車関連が低調
米国は吸水性樹脂が好調

連結貸借対照表

参考資料

単位：百万円

	19.6月末	20.6月末
現金・預金	3,433	5,956
受取手形・売掛金等	17,623	14,305
商品・製品	12,593	14,227
その他流動資産	2,758	2,546
有形固定資産	2,100	2,518
その他固定資産	5,188	5,398
資産合計	43,699	44,955
支払手形・買掛金	8,928	8,136
短期借入金	1,318	1,581
その他流動負債	3,589	3,288
長期借入金	50	70
その他固定負債	1,085	1,098
純資産	28,727	30,777
負債純資産合計	43,699	44,955
有利子負債比率	3.13%	3.67%
現預金比率	7.86%	13.25%
自己資本比率	65.74%	68.46%

【貸借対照表概要】

- ・売上債権が減少する一方で現金・預金や商品・製品が増加し流動資産は微増
- ・子会社取得によるのれんの増加や土地の取得などにより固定資産は増加
- ・仕入債務が減少したことで流動負債は減少
- ・利益の積み上げにより純資産は増加

＜ポイント＞

- ・有利子負債は低水準が続く
- ・コロナを受け現金・預金を積み増し
- ・自己資本比率は上昇

IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 経営戦略室長 大谷 隆一

電話：03-3518-1111 e-mail：ir@sanyo-trading.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。